

柴の戸の御詠歌

松 濤 基 作曲
山 村 龍 正 振 付
〃 龍 泉

準備	「右生」「左生」に分れ(間隔約 1m) 正座し扇を前におく	
唱え奉る 柴の戸の	静かに合掌	
御詠歌に	左手膝右手にて扇をとり左膝を立て斜右にむき扇を胸にだく如くする	
歌	手	足
し	右生に同じ	左手をのばし右手も伸す如くして静かに扇を
		すべらして肩より低いめに両手を伸す
イ		
ば	右生に同じ	腰を浮かして
ア		顔を左の方向に向ける
の	右生に同じ	顔を正面になおしつつ腰を下し
		静かに立ち右足を左足に揃える
と	右生に同じ	
		右足を後ろに引き同時に
オ		腰をおとす
に	右生に同じ	顔を左に向ける
あ	両手左肩の高さにあげ顔は右下に向け左足を	左手掌を上にして帯の上縁の高さで扇の中程
け	出して後向きとなりながら右手大きく弧を描き	を握り上に伸し右足一歩前に出し(斜左向き)
く	つつ右下に下し左手は袖に入れたまま口の	左手の甲を見る如くし右手は「もも」につける
れ	前に保つ、顔は左上に向ける	

歌	手	足
か 	右手扇の要を上にもちかえ右上にかざし	右足を後ろに引き体斜右に向き左手
か 	左手は袖に入れたまま	扇を握ったまま掌を下にして体前帯紐
る	左肩の高さに下す	の高さに運び右手掌を上にして右
	顔は右上に向ける	頭上にかざす、顔左に向ける
し		
イ	右足をひいて右廻り正面を向き	斜右下にて扇を開き
	右斜下にて扇を開き	(体斜右正面)
ら	右足を一步出して(右生に同じ)	右足を出し左膝をつき(体斜左正面)左手
	(体斜左正面)	にて「要」を上にして扇の左端をもち
ゝ ア		左へ伸し(目の高さ)右手掌を下にして左乳
		の前より静かに
く	右生に同じ(体斜左正面)	右へうつす(体斜左正面)
ウ		
も 		
を	右生に同じ	「要」を両手でもち右膝の上に
		表を上にして保つ
(休)		
い	左手袖に入れたまま左肩の高さに	右手を袖の中でひろげて
つ	あげ	扇の上に小さい円を描き
む	体を右よりまわす如くして	
ら	斜右を見て	斜右を見て

歌	手	足
さ	左足を出して右手で「要」をもち下手の扇	腰をうかして両手で目の高さに扇を
き 	にかけ表を上にして保つ	捧げ(数を乞う心)
の	左手は左足につけ「下手」と顔を	左生の顔を見る如くする
	見合す如くする(体斜右向正面)	
い	扇を正面に保ち右生の反対に	扇を正面に保ち左手で扇の左端をもち
	動作を行う	左生の扇と「要」を合す如く前に出して
ろ	(体斜右正面)	伏せ右手は胸にあて扇の表を前にして
に		立って上にあげてとめる(体斜左向き)
み	右生の反対を行い	扇を体右斜下におろして右手で「要」をもち
		左手で袖をとって肩の高さにあげ左手の下を
な		くぐって扇を後に出し(表正面)右足をかけて
さ	右まわりして	左まわりして
ん	体斜左に向いて左膝を	体斜右に向いてとまり扇を頭上にかざし
	おろして左手にて扇を頭上にかざし	左手は袖をとって構える
	右手をとって構える顔右に向ける	顔左上を見て腰をおとす
(休)		
同時に正座して扇は体前表を上にして保ち両手で両方から閉じて前におき合掌する		

ポイント注意 このお舞いは両生とも常に斜め正面になります。

【あけくれかめる】 体の向き。斜め正面になるように注意してください。

【いつむら】 (両生の) 目線に注意。両生とも斜め右上を見ます。